

で、上記胚子状態は血しょう中の抗原と抗体の結合状態を保持させた状態とこの抗原抗体反応を起す能力であることを特徴とする胚子状態の抽出装置。

[illegible]

日、特許請求の範囲図7取組線の食山方法において、上記試体の重特伸量は、上記限付応減量と対する底流弾縮が小さい物質であることを特徴とする錠子状物質の抽出装置。

3. 發明の理由

〔産業上の利用分野〕

水溶液は懸液中の粒子が物質の表面方法及び液
中にあり、特に、懸濁の抗原抗体生成物の模
出に於ては、液滴の抗原抗体生成物の表面方法及び液
中にあり、特に、懸濁の抗原抗体生成物の模

【煤の技術】

〔問題点を解決するたぬの手腕〕

[illegible]

【作用】

[illegible]

東京五社連合会 (P.J.) 五社連合会 長田 ⑤

⑫ 公開特許公報 (A) 昭63-44149

⑨Int. C.	⑨公開	昭和63年(1988)2月25日
G 01 N	審査請求	発明の数 3 (全3頁)
15/00	A-7246-2G	庁内管理番号
15/06	C-7246-2G	
21/00	A-7458-2G	

④發明の名称
粒子状物質の検出方法およびその装置

20 特 9261-186808

②出版 昭和61(1986)8月11日

明者北森武彦 株式会社日立製作所 エネル

研究内

⑨ 免 明 著 保 田 和 雄 東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地 株式会社日立製作所

1. **Introduction**

2
 3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525
 526

1 附錄

キ一研究所内

日立製作所 東京都千代田区

現代選 人 井理士 小川 勝男 外2名

170214Z

10

●

1. 本邦の環境政策

粒子的状態の異なる方へ進む

2. 特許請求の範囲

1. 河の流量を求め対流である物質の電子状態物質の遷移にこれに等しく測量した値、上図測を電子状態物質に照射し、該電子状態物質から発生する発光物質の強度を測定することにより対流の電子状態物質の速度を求めらるる電子状態物質の発出方法。

2. 光の波長を分析対象である特定の電子状態物質の性に実質上等しく調製した後、上記州を粒子の状態で物質に照射し、該電子状態物質から発出する光物質粒子の検証と特定の電子状態物質の調度との関係を用いて特定の電子状態物質の調度を求める。

3. 肺は呼吸の器官であるが、同時に血を濾過する働きも持つ。肺動脈から来る血液は、肺に到達すると酸素と二酸化炭素の交換が行われる。この過程で、血液中の不純物（毒素）は肺動脈の壁に付着し、その後、リンパ管を通じて全身から除去される。

新井 隆

了、得件請求の第6項記載の輸出装置において

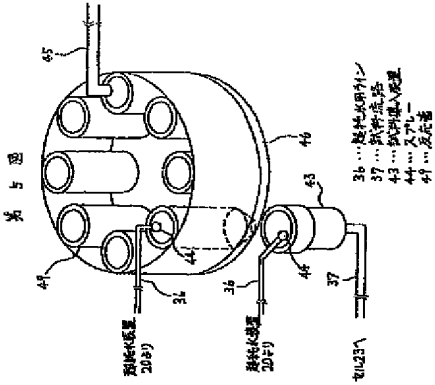
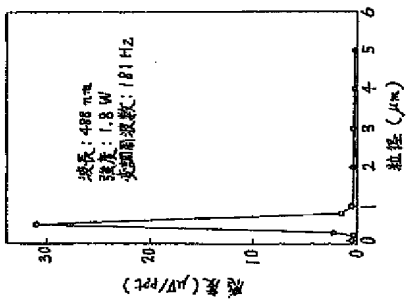
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明による試料中の電子状態測定装置の基本構成を示す図、第2図は光音響分光装置の構成の概略図、第3図は本装置の構成の概略図、第4図は実施例に使用したセルの構造図、第5図は実施例に使用した反応セルの構造図、第6図は反応前後の試料を保持したポリスチレン粒子の構造図、第7図はリニエアマトリックスの構造図を示す図である。
1...光源、2...波長変換装置、3...光源光、4...波長変換装置、5...ハーフミラー、6...セル、7...ビームスプリッタ、8...光検出器、9...コンタクトインプット、10...能率計、11...光、12...参照光、13...波長変換装置等により発生する信号に換算された光音響信号、14...光強度の信号、15...光音響信号の信号、16...光音響信号の位相の信号、17...アルゴンレーザ、18...色散レーザ、19...光検出装置、20...超純水装置、21...反応槽、22...試料注入部、23...セル、24...ビームスプリッタ、25...レーザ光、26...

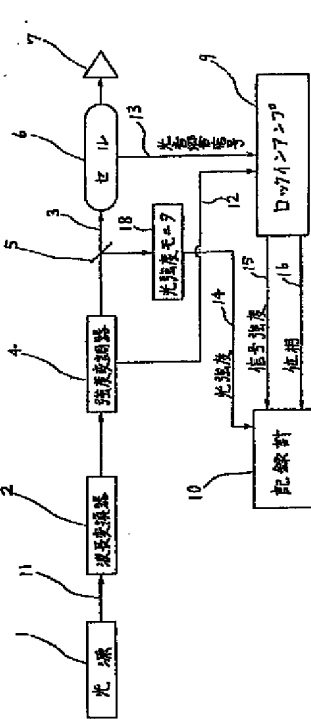
器、27...波長変換装置、28...レーザ光、29...波長モニタ、30...ドライバ、31...光強度モニタ、32...コンタクトインプット、33...データ処理装置、34...試料からの光音響信号、35...参照光、36...超純水用ライン、37...試料液滴、38...検出用試料液滴、39...試料液、40...反応槽、41...ガラス円筒、42...試料液、43...試料液注入部、44...スプレー、45...試料液滴、46...保持台、47...試料液反応生成物、48...試料液を保持したポリスチレン粒子、49...反応槽、50...反応槽。

代理人 井岡正 小川勝男

第2図



第3図

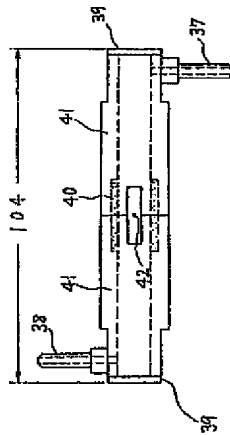


第1図

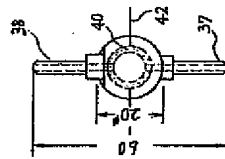
第1頁の続き

②発明者 藤 森 治 男 茨城県日立市森山町116番地 株式会社日立製作所エネルギー研究室内

第4図(A)



第4図(B)



38...排出口材料流路

40...反応素子
41...ガス入口
37...燃料流路

第6図(A)



反応前

47...抗酸核形成反応核

48a...抗酸核形成反応核

48b...未反応粒子

第6図(B)



反応後

第7図

